



ASTON MARTIN

2016.8.3

報道関係各位

アストンマーティン・ジャパン

PressRelease

リミテッド・エディションの Vanquish Zagato および Vantage GT8 が東京でデビュー

- アストンマーティン・スペシャル・プロジェクトの最新モデルを公開
- 両シリーズとも「完売」しているため、コレクターズ・マーケットに大きく訴求
- 日本に導入される Vantage GT8 はわずか 5 台、Vanquish Zagato は 2 台



2016 年 8 月 3 日、東京：

アストンマーティンは、昨日、リミテッド・エディションの Vanquish Zagato および Vantage GT8 を東京で公開しました。青山の高級家具店で開催されたイベントに参加したゲストの方々は、アストンマーティン・スペシャル・プロジェクト部門によって製作された限定生産モデルを、一般に先駆けて間近で見ることができました。

躍動感溢れるデザインが特徴の Vanquish Zagato Coupe は、イタリアの有名なカロッツェリア、ザガートとアストンマーティンの長期間に及ぶパートナーシップから生まれた最新作です。Vanquish Zagato のコンセプト・バージョンは、2016 年 5 月にイタリアのコモ湖畔で開催された有名なヒストリックカーの祭典「コンコルソ・デレガンツァ・ヴィラ・デステ」で発表され、大きな称賛を受けました。今回、お客様からのかつてない強い要望を受け、英国ゲイド



ASTON MARTIN

ンのアストンマーティン・ファクトリーにおいて、99 台限定で生産されることになりました。
全生産分はすでに「完売」となっていますが、日本向けには 2 台が確保されています。

Vanquish Zagato は、50 年にも及ぶアストンマーティンとザガートのコラボレーションによって誕生した 5 台目のモデルであり、高い評価を受けているアストンマーティンのダイナミズム、素材クオリティへのこだわりと、ザガート特有のデザイン・ランゲージを巧みに融合させています。Vanquish Zagato は、目を見張るようなスポーツ性に加え、アストンマーティンの手になるビスポーク・ラグジュアリーの究極の形を示すものです。

ザガートとのコラボレーションの歴史は、1960 年に発表され、美しいシルエットが特徴の DB4 GT Zagato レーシングカーにまで遡ることができます。このクルマは現在 1,000 万ポンド以上の価値があるとされています。その後、1986 年には V8 Vantage Zagato、2002 年には DB7 Vantage Zagato、2011 年には V12 Vantage Zagato が発表されました。

Vanquish Zagato は、アストンマーティンの GT カー・ラインナップに追加されたパワフルなモデルです。このクルマは、アストンマーティンが本質的に備えている高い洗練性と能力と、モータースポーツの世界から生まれ、何年にもわたってエレガントなラグジュアリー・スポーツカーを磨き上げてきたザガートならではのデザイン・エレメントが見事に融合しています。新しいボディワークは、すべてがカーボンファイバーで製作され、大きな 1 ピースパネルを使うことによって、ボディパネルの継ぎ目に現れるスプリット・ラインを大幅に削減しています。

ルーフには、アイコン的な“ダブル・バブル”が施され、なだらかなルーフラインの曲線がそのままリア・ウィンドウへと繋がり、特徴的なリア・シルエットを創出しています。“ダブル・バブル”は、1950 年代初頭からザガート・デザインのシンボルとみなされていますが、本来は空力への影響を最小限に抑えつつ、ヘルメットを着用したレーシングドライバーのヘッドクリアランスを確保するために採用されたデザインでした。

Vanquish Zagato は、両ブランドの歴史に新たなページを書き加えると同時に、アストンマーティン・ブランドを代表するアイコン・モデルにふさわしい、真にエクスクルーシブなスポー



ASTON MARTIN

ティング GT に仕上がっています。お客様への納車は、2017 年第 1 四半期から開始される予定です。

アストンマーティン・アジア・パシフィック社長のパトリック・ニルソンは、次のように述べています。「Vanquish Zagato を、主要なマーケットである日本に導入することができて、大変嬉しく思っています。私たちは、日本のコレクターズ・マーケットから強い要望を受けてきました。そのため、今回のイベントは、この躍動感溢れる新しい限定生産モデルを、じっくりと見て頂く素晴らしい機会となりました。」

2016 年モデルのアストンマーティン V8 Vantage GTE レーシングカーをインスピレーションの源とする Vantage GT8 は、正真正銘のサブレッドです。V8 Vantage 史上最軽量、最強のモデルは、ドラマチックなフォルムを見せるカーボンファイバー・ボディワークを基礎として、レース直系の空力テクノロジーを応用しています。サーキット走行を想定してチューンされたシャーシは極めてシャープな俊敏性を実現、改良が施されたアストンマーティン製 4.7 リッター V8 エンジン、6 速マニュアルまたは 7 速 Sportshift™ II パドルシフト・トランスミッションと組み合わせられます。Vantage GT8 は、圧倒的なスタイルと存在感でその出自を主張し、類まれなドライビング・エクスペリエンスを提供します。

ノーズからテールまで、レースの息吹を感じさせるものの、Vantage GT8 はあくまでロードカーです。アストンマーティン・レーシングの WEC マシンとの繋がりが明白なワイドボディと空力処理が施された Vantage GT8 には、フロント・スプリッター、フロント/リア・バンパー、フェンダー、サイドシル、リア・ディフューザーに軽量のカーボンファイバーが使われています。外観でもっとも目を引くのは、GTE マシンを彷彿とさせるフロント・ホイールアーチのカットアウェイ処理でしょう。さらにエアロダイナミクスを追求したい場合に備えて、大型リアウイングとフロント・スプリッター・コーナーエレメントで構成されるエアロパックをオプション設定しています。

軽量化によるパフォーマンスの向上が、Vantage GT8 最大のテーマです。リチウムイオン・バッテリーを標準装備して貴重な数キログラムを削減したほか、カーボンファイバー・ルーフ、ポリカーボネート・リア・ウィンドスクリーン/リア・サイド・ウィンドウ、センター出しチタン・エキゾースト・システムなどいっそうの軽量化オプション設定されています。標準装備の



ASTON MARTIN

カーボンファイバー・スポーツシート(マニュアル調整式。軽量化に貢献)やカーボンファイバー・ドアパネルと相まって、最大で 100kg の軽量化を実現する Vantage GT8 は、Vantage 史上最軽量モデルとなります。エアコンディショナー、160W オーディオ・システム、先進の AMi III インフォテインメント・システムなど、プレミアム・ロードゴーイング GT には不可欠なアイテムも標準装備されます。

また、ニルソンは次ように付け加えています。「103 年に及ぶアストンマーティンの歴史の中で、モータースポーツは大きな役割を果たしてきました。Vantage GT8 は、究極のロードカーを製作するためのル・マン・レーシング・プログラムの能力を結集して製作したモデルです。コレクターの方々に加えて、真のドライビング・エンスージアストに訴求するこのモデルは、世界デビューの時点で「完売」したことが正式に発表されています。Vantage GT8 は、全世界でわずか 150 台のみが限定製作されます。そのうち、日本には 5 台が導入されます。お客様への納車は、2016 年第 4 四半期から開始される予定です。」

Vanquish Zagato と Vantage GT8 の日本国内における価格は下記のとおりです。

- ・Vanquish Zagato 85,100,000 円(税込)
- ・Vantage GT8 27,700,000 円(マニュアルトランスミッション／税込)
28,272,400 円(スポーツシフト／税込)

今回のイベントの模様(画像データ)は下記よりダウンロードいただけます。

<https://we.tl/iBwsywmopQ>

###

詳しい情報は、ウェブサイト(www.astonmartin.com または www.astonmartin.com/media)から入手可能です。

ブランド・コミュニケーションチームの [Twitter](#) も開設されています。

アストンマーティン・ソーシャルメディア・チャンネルは、以下のリンクからアクセスできます。

- [Facebook](#)
- [Twitter](#)
- [Instagram](#)
- [Google+](#)



ASTON MARTIN

- [Pinterest](#)
- [YouTube](#)
- [LinkedIn](#)
- [Vine](#)

メディア問い合わせ先:

コスモ・コミュニケーションズ
アストンマーティン PR チーム
今野 博文
Tel: 03-6434-5839
M: 090-6180-0281
hirofumi_konno@my-z.co.jp